

緊急時対応マニュアル

I 第66回全国高等学校家庭科実践研究会参加にあたっての留意事項

1 健康（体調）管理に十分気をつけてください。

- (1) 体調を十分に整えて参加してください。
- (2) 「熱中症」「食中毒」が発生しやすい時期ですので、十分注意してください。
- (3) 休養室に内服薬は置いておりません。日頃内服している常備薬を携行してください。
- (4) 医療機関における医療費は受診者負担になります。
- (5) 感染症予防のため、マスクの着用をお願いします。また、飲食の前には必ず手洗い、うがいを行ってください。
- (6) 発熱等の症状がある場合は、本大会への参加はお断りします。大会当日に症状が出た場合は「救急医療NET HIROSHIMA」
URL <http://www.qq.pref.hiroshima.jp/kt/>などを用いてホテル近隣の医療機関を受診してください。

2 貴重品・手荷物の管理は自己管理してください。

- (1) 初日（全体会）の会場
 - ・クローク、コインロッカーはありません。旅行かばんはホテル又はコインロッカー等に預けてお越してください。
 - ・緊急時に備え、貴重品や手荷物はできるだけ一つにまとめておいてください。
- (2) 2日目アラカルト研修
 - ・バスでの移動が中心となります。貴重品や手荷物はできるだけまとめておいてください。集合場所には、トランクに積む荷物と手荷物を分けてお持ちください。
 - ・暑さに備え、水分補給のための飲料水を御用意ください。
 - ・アラカルト研修中、バスのトランクに積んだ荷物の出し入れはできません。

3 自然災害に備えましょう。

- (1) 注意報、警報などの気象情報については、テレビ、ラジオ、携帯電話等で早めに把握しておいてください。
- (2) 災害時の安否確認

震度6以上の地震や豪雨などの災害時に、被災地等へ安否確認のため、下記のサービスが利用できます。詳しくは各電話会社に確認してください。

 - ①災害用伝言板サービス（携帯電話）

携帯電話各社にて、災害用伝言板サービスを提供しています。
 - ②災害用伝言ダイヤル『171』（一般電話、公衆電話）

NTTにより提供されています。

URL : <https://www.ntt-west.co.jp/dengon/>

Ⅱ 緊急時の連絡体制

1 連絡手段等

(1) 日本旅行の大会申し込みHP
自然災害等の影響による大会の中止、開催時間の変更についてはこちらを御確認ください。<https://va.apollon.nta.co.jp/kateika/>



(2) 緊急連絡先
広島県立海田高等学校 第66回全国高等学校家庭科実践研究会（広島大会）事務局
TEL：082-822-3030 FAX：082-822-3800

2 開催計画変更時の対応

大会前日までの計画変更の場合	日本旅行申し込みHPに変更内容を掲載し、申し込みメールアドレスに変更にかかる連絡を送付します。
当日の開始時刻の繰り下げの場合（開始時刻未定等）	警報などが解除されるなど、開催を決定した時点で日本旅行申し込みHPに開催時刻などを掲載します。また、申し込みメールアドレスにも変更内容を送付します。 それまでは、原則として自宅・ホテルで待機してください。
急遽大会が中止となった場合	日本旅行申し込みHPに大会中止について掲載し、申し込みメールアドレスに同じ内容を送付します。特に連絡のない限り、自宅・ホテルにて待機してください。開催会場は、原則として開場しません。
大会終了時刻の繰上げが決定された場合	大会事務局の指示に従い、速やかに行動してください。

3 医療救護体制

(1) 会場における救護

8月2日の会場（織田幹雄スクエア）には休養室を設けています。医療従事者は待機しておりません。医療機関での診療等が必要な場合は、医療機関を紹介いたします。また、緊急を要する場合は、救急車の出動要請を行います。

8月3日のアラカルト研修には、休養室は設けておりません。途中、体調の悪くなった方は各コースの運営役員に御相談ください。

(2) 医療機関の検索

医療機関の検索については、広島県が運営する『救急医療 NET HIROSHIMA』等により行ってください。

(3) 医療機関受診後の報告

医療機関受診後は、必ず大会事務局に状況を御連絡ください。



(4) 救護にかかわる個人情報の管理

救護にあたる際、必要な個人情報を大会事務局が収集いたします。感染症予防の観点により必要があると判断した場合、本人に確認の上、情報を保健所等に提供することがあります。

4 不審者、不審物への対応

(1) 不審者、不審物を発見した場合は、直ちに近くの運営役員に知らせるよう伝えてください。不審物に触れないようにしてください。

(2) 身の安全を第一に考えて行動してください。不審者に対しては無理に立ち向かおうとせず、大声で応援を呼ぶようにしてください。